

## 繊維製品の接触冷感性評価方法のJISが出来ました！

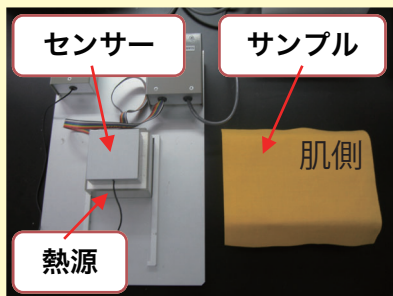
**2020年2月20日にJIS L 1927『繊維製品の接触冷感性評価方法』が制定されました。**

機能素材の評価試験の一つとして、人の皮膚が生地に触れた時に、「冷たく」感じるかを評価する接触冷感試験があります。この接触冷感性は繊維製品の快適性を評価する一つの指標としては重要ですが、様々な試験条件下で評価されている現状でありました。このたび、日本国内での統一した試験方法として、JIS L 1927『繊維製品の接触冷感性評価方法』が制定されましたので、生地の接触冷感性評価にご活用ください。

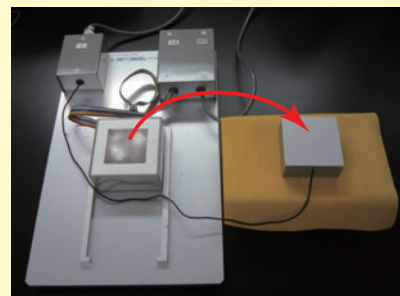
### 試験方法の概要

試料サイズ	約150mm×約150mm 5枚
試験環境	20℃±2℃、65%±4%RH
測定台の表面	q <sub>max</sub> の値が0.100未満の発泡ポリスチレンなどの平滑な板を密着させたものを使用。
試験条件	熱源板(接触冷感測定用のセンサー)を室温より10.0℃高い温度(ΔT=10℃)に設定する。 <small>でるたいてー</small>
試験の概要	室温に調温された試験片の測定面を上(一般的には使用時に肌と接触する面。肌着であれば裏面、シャツ類であれば表面)にして、測定台の上に静置する。 熱源板(接触冷感測定用のセンサー)を試験片の上に迅速に置き、このとき得られるq <sub>max</sub> 値(W/cm <sup>2</sup> )を求め、5回の平均値を四捨五入によって小数第3位に丸める。

### 接触冷感測定の概要



熱板を試料に対し垂直に迅速に置く



### 評価の例

附属書B(参考)には、ΔT=10℃で測定したq<sub>max</sub>の値の評価の例が示されている。

評価	評価値(W/cm <sup>2</sup> )
性能をもつ	0.100以上

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

東京機能性試験センター  
担当：坂井、太田

〒135-0001  
東京都江東区毛利1丁目12番1号  
TEL:03-5669-1415 FAX:03-5669-1416

大阪機能性試験センター  
担当：川畑、橋本

〒552-0021  
大阪市港区築港1丁目6番24号  
TEL:06-6577-0163 FAX:06-6577-0164